

銀行・信託業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	15～16	道路の3車線の真ん中を走行中、左車線に侵入してしまい、走行中の大型ワンボックスカーと衝突し、首と左肩を痛め、回転性のめまいで入院し、痺れもある。	48	231	17	30～49
2017	1	8～9	歩道を勤務移動中に足を滑らせ転倒し、左足くるぶしを骨折し、靭帯損傷した。	32	719	2	30～49
2017	1	12～13	会社内の3階から2階に通じる階段において、階段を下りる際に一番上のステップに右足の靴の踵が引っ掛かり、前のめりに10段の階段を転落した。	48	413	2	50～99
2017	1	16～17	銀行敷地内の駐車場で退社の際、使用している行用車の施錠を確認後、車止につまずき転倒し、その際に左手首を骨折した。	58	419	2	10～29
2017	1	11～12	営業に向かう途中、左カーブを曲がり終えた直後、前方不注意により左側ガードレールに衝突し右膝を負傷した。	25	231	17	1～9
2017	1	15～16	集金業務終了後、原付で支店に戻る途中、交差点を徐行で左折したところ、凍結した路面でスリップし転倒した。	64	719	17	30～49
2017	1	13～14	不動産担保物件調査をする為、店舗出口から駐車場へ出る時、ブロック2個置いている場所で左足がブロックにかかり着地した際、左足ふくらはぎの肉離れをしてしまった。	68	379	19	10～29
2017	2	9～10	書類格納のため、事務室内を歩いていたところ、後退してきた椅子の脚に躓き転倒した。左臀部を床で打撲したものである。同人は両足に人工股関節を装着している。	58	391	2	—

2017	2	15~16	顧客宅訪問時、面談終了後に下り坂を急いで小走りで駆け下り社用車に戻る途中で躓き足を捻り負傷したものである。	52	417	19	100 ~ 299
2017	2	16~17	本部ビル書庫内の棚から物品を取り出すため脚立を使用した。脚立から降りる際、残り1段のところ踏み外し転倒した。その着地の際に右手を床面についたため、骨折に至ったものである。	59	371	1	50~ 99
2017	3	11~12	フロアにてお客様ご案内のため、立って待機していたところ、突然意識を失い床へ倒れ、左太腿部を強打し負傷した。	58	417	2	100 ~ 299
2017	3	17~18	業務が終了し、資料を片付けるため自席を立ち、キャビネットの方向へ身体の向きを変えたところ、バランスを崩し転倒し、右足首をねんざする。	52	418	2	500 ~ 999
2017	3	17~18	側道を営業のためバイクで走行中、右折の際、対向車線から直進してきた相手方車輦と衝突し負傷した。被災者が右折時、相手方車輦は交差点前の上り坂にいたため、被災者側から視認できず、相手方が直進を続け、事故が発生した。	26	231	17	10~ 29
2017	3	10~11	室内にて、朝から3人で研修テキストの入ったダンボール箱（32cm×24cm×23cm、122箱）を各支店へ発送するための作業を開始した。1人が半自動梱包機をプラスチックバンドを縦横にかけ、もう1人がダンボール箱を仮置き場まで運び（約13m）、もう1人が横に12箱、縦に5箱から7箱積み上げ作業を行った。それ以上の高さについては、その場にいた男性職員に依頼し、当人は、当初半自動梱包機でプラスチックバンドを掛ける作業を行い（約7箱）、そのあと積み上げ作業の方に移動して1人でダンボール箱を並べ積み上げる作業を行う（約20分）。その後、2人でダンボール箱を並べ積み上げる作業（約15分）を行い終了したが、指が疲れて痛みを発症した。	51	611	19	1000 ~ 9999
			事務引き継ぎのため原付バイクで出勤途中、前方を走っていた車が				

2017	3	8~9	ブレーキをかけ減速したので、こちらもブレーキをかけたがタイヤが滑り、ハンドルをとられ左膝が電柱に接触した。当時、異動予定の新任地に引き継ぎのため出張中であった。	43	231	17	100 ~ 299
2017	4	8~9	本館3階から2階へ下りる際に階段を踏み外し、2階まで転落し、右肩を骨折した。	66	413	1	1000 ~ 9999
2017	4	8~9	歩道（公道）から営業所へ入る地点で、靴から行員証を取り出しながら歩いている時に、縁石につまずいて転倒した（縁石は支店敷地内）。その際、前頭部を地面突起物（門扉車輪止め）にぶつけて挫創するとともに、左膝を地面に強打し打撲した。	61	419	2	30~ 49
2017	5	11~ 12	信号無しの交差点で営業活動中に、自転車で走行している時に、子供が右側から飛び出し、急ブレーキ・急ハンドルにて避けたが、本人は転倒し左肘を骨折した。	24	362	17	10~ 29
2017	5	11~ 12	顧客訪問後、事業所へ向かう際、雨で濡れた歩道を自転車で走行中に転倒し、左足を骨折した。	47	362	2	30~ 49
2017	5	13~ 14	支店内階段にて、2階から1階へ降りようとしたところ、靴が階段の滑り止め部分に引っ掛かり前のめりに転倒し、階段踊り場に転がり落ちた。その際に顔面および左半身を強打した。	38	413	1	10~ 29
2017	5	15~ 16	営業活動中、バイクで直進している時に交差点を青信号にて通過していたところ、左側方より右折にて交差点に進入してきた自動車と衝突した。（相手側は一時停止標識あり）衝突前にブレーキを掛けてハンドルを左に切ったが間に合わず、相手自動車の前方側面と接触し、相手自動車とバイクの間に転倒し骨折した。	23	231	17	1~9
2017	6	11~ 12	支店建物内の2階営業室にて、課長横のキャビネット前より計表を取るために屈んだところ、腰部に激しい痛みが発症した。時間が経過するとともに、立つこと、歩くことが出来なくなってしまったため、救急車にて緊急搬送された。	23	921	19	100 ~ 299

2017	6	12~ 13	信号のない交差点を直進のため時速30km程度でバイクに乗って進入したところ、右側から交差点直進のため車両が進入してきた。衝突を避ける為、左にハンドルを切ったが、相手車両左前方に衝突し、右橈骨遠位端骨折、右大腿左挫創を負った。（当方が優先道路であった。）	24	231	17	500 ~ 999
2017	6	15~ 16	支店南館の駐車場に停めてある車の中に探し物をするため向かう途中で、駐車場で滑って転倒し右足を骨折した。	57	417	2	100 ~ 299
2017	6	11~ 12	渉外活動のためバイクで道路を直進中、右方より直進していた車に気付かずに交差点へ入ってしまい、車に衝突し、鎖骨・腰を骨折した。	38	231	17	100 ~ 299
2017	7	13~14	指導のため支店臨店。支店の行員通用口から入った時、階段の段差に気がつかず転倒し、足首をひねった。	57	413	2	500 ~ 999
2017	7	11~12	休憩時間中、新館3階の執務室から本館2階の食堂（休憩場所）への移動の際、本館2階階段の5段目あたりから転倒し、両膝と左肘を打撲。	42	413	1	100 ~ 299
2017	7	16~17	融資課ロビーで、季節にちなんだディスプレイの飾りつけをしていた際に、飾りつけの全体を見ようとして後ずさりし、床のじゅうたんに足をとられ転倒。手をつかずに右腰を強打。暫くは歩けていたが、制服を着替える時に片足で立った際、股関節に衝撃があり、一歩ずつしか歩けなくなったもの。	56	417	2	30~ 49
2017	7	16~17	右折しようとして右側に進路をとったところ、後方車に追突された。	25	231	17	30~ 49
2017	7	12~ 13	職場の階段で二階にあるトイレに行こうと5~6段上がった所で別な仕事（帳票を取りに）を思い出し下に降りようとして転倒、手足打撲（鼻横骨・左頬骨）骨折した。	58	413	1	10~ 29

2017	7	12～ 13	当事業場内において、休憩時間中、被災社員は昼食をとるため10階から9階へ階段を下りた際に足を踏み外し、地面から3段目の高さから転落し、左足首から下を地面に強打した。	25	413	1	1000 ～ 9999
2017	7	11～ 12	支店建物内で、伝票の製本を金庫内の棚へ製本をしまうため、パイプ椅子に乗り、バランスを崩して転落し、右足甲を骨折した。	51	371	1	100 ～ 299
2017	7	17～ 18	店内の飾り付けを変更するため、2階にある物品庫へ小物を取りに向かった。2階物品庫へは天井に棒を差すと下りてくる折り畳み階段があるが、階段を下ろす作業が初めてだったため、手順を知っている人と一緒に行っていた。しかし、下ろす途中で階段が勢いよく下りてきたため、顔を背けた状態で左側首に落下し負傷した。	30	371	6	10～ 29
2017	7	11～ 12	T字路の横断歩道を直進時に、左折車両が接触し横転した。	53	231	17	10～ 29
2017	7	15～ 16	支店建物内で、1階倉庫入口のスロープに躓き転倒した。その際、両手にファイルを抱えていたため、受け身をとれず両手首を骨折した。	51	418	2	30～ 49
2017	7	13～ 14	事務センター内の4Fから3Fへ降りる階段で、3F事務室に戻ろうと下っていたとき、下から3段目の階段を踏み外し、そのまま3F踊り場へ落下し、腰を強打した。また、打撲による痛みと、左足太ももの踏ん張りが効かず、歩行困難となったものである。	62	413	1	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	バイクが下り坂を走行中、前方左斜め奥の道より相手車が左折により通りに出ようとしていた。そこへ前方対向車線を走行中の第三者の車が右折により右手前斜め奥の道に入ろうとしていた。バイクは速度を落とし、第三者の対向車の右折通過後直進した、相手車は、右折車（第三者の車）に気を取られ、直進してきたバイクに気付かず、そのまま左折し衝突した。	57	231	17	50～ 99
2017	9	12～	渉外活動において、店前の公道をバイクで走行中、前方にコンビニへ入るトラックが見え減速したが、雨が降っており止まり切れずス	23	231	17	10～

		13	リップして転倒、単独事故を発生させた。					29
2017	9	11～ 12	勤務中路上にて、公用バイクで集金先から帰行中、前方左折車両が左折開始時に前方車両左方後部と当方バイク右ハンドル付近が接触、転倒し、負傷したものである。	61	231		17	10～ 29
2017	10	16～ 17	営業室内にて自席から書類を取りに金庫室に移動しようとしたところ、隣席の椅子の足につまずいてよろけたまま金庫室の扉の角に左肩を強打し転倒。そのまま動けなくなった。左上腕骨折位部骨折した。	54	921		3	10～ 29
2017	10	8～9	始業時間直前に当事業場内において、対象社員は自分の所属する課の事務室へ向かうため、10階から9階へ急いで階段を下りた際、階段に足を引っ掛けて捻り負傷した。（時に階段自体に異常や突起物質等は無かったことを確認済。）	60	413		19	1000 ～ 9999
2017	10	11～ 12	地下駐車場から右折し出庫する際に、四輪自動車と衝突したものの。当方二輪車の右側と先方四輪車のフロント部分が衝突し、右足が挟まれ骨折したものの。	26	231		3	30～ 49
2017	10	12～ 13	営業車で直進中、脇道から横切ろうとした車両と衝突し、営業車が大破し、運転していた当庫職員が胸部を強打し負傷した。	45	231		17	30～ 49
2017	11	11～ 12	営業の為、自転車で訪問活動中。走行中、突風に煽られ、自転車のハンドル操作を誤り、横転。転倒場所に高さ30cmのコンクリート基礎があり、自転車と基礎部分に挟まれ、左脚膝下を打撲・裂傷したものである。	59	719		17	10～ 29
2017	11	8～9	就業準備のため、地下1階にある更衣室へ向かう階段を下りていた際、足を滑らせ約1.5m下まで転落した。	49	413		1	300 ～ 499
2017	11	14～ 15	銀行ロビーにて、お客様のご案内に向かった際に、別のお客様の持っていたカバンの紐に足を引っ掛けてしまい、転倒した。両膝を強打し、その後顔面を床に強打し、口の中も切れたものである。	51	379		2	50～ 99

2017	11	12~ 13	2階食堂にて昼食後、窓口勤務開始のため階段にて1階営業室に向かう際、階段にて足を滑らせ落ち、右足首にヒビが入った。	57	413	1	1000 ~ 9999
2017	11	11~ 12	被災者は事務室から昼休憩のため、本館西側階段を下り食堂へ向かうところ、10段ある階段の上から2段目で足を踏み外し踊り場まで転げ落ちた。被災者は、右目黄斑上膜手術を受け、職場復帰したばかりのため、遠近感がとれず目測を誤った様子である。	52	413	2	300 ~ 499
2017	11	13~ 14	駐車場で、車を停め入口に向かう時、横方向から聞こえた物音に気を取られ、足元の車止めブロックに躓き転倒した。転倒の際に右足首打撲と捻挫、両膝に擦過傷を負った。	53	417	2	30~ 49
2017	11	15~ 16	就業先事業所2階で会議が終わり、折りたたみ用長机を横に移動させた際に、机の脚が内側に折れ右足人差し指に落下し受傷した。出血がひどく、同日医療機関で受診した。	36	391	4	10~ 29
2017	11	16~ 17	業務終了時間となり、地階ロッカーへ移動中、センター内のケーブルを束ねた上に取り付けてあるプラスチック製のカバーの端に躓き、転倒を避けるため不自然な体勢となり、左足を骨折してしまった。	55	417	2	100 ~ 299
2017	12	13~14	昼食休憩を終え、6階の食堂から4階の仕事場へ戻るため階段を下りた際に、最後の段がないものと思い込み、踏み込んだため、勢いよく倒れてしまい怪我を負った。	62	413	2	300 ~ 499
2017	12	11~12	社内の年末大掃除中、椅子に上って天井の蛍光灯の清掃作業をしていたところ、バランスを崩して椅子から落下し、腰部を強打し、腰骨の破裂骨折を負った。	59	413	2	100 ~ 299
2017	12	9~10	交差点にて原動機付自転車運転中に降雪により、路面が滑りやすくなっていて注意はしていたがバランスを崩し、転倒したため臀部を強打したものである。	27	719	2	10~ 29
2017	12	8~9	ロッカー一室に向かう階段を下りている際、靴がはさまり、転落し	54	413	2	30~

			た。				49
2017	12	15~16	営業活動のためバイクにて移動中、対面二車線道路の信号のない交差点にて、当方直進に対して、対面車両が急に右折をした。その際、衝突を回避するため急停止し、転倒して負傷した。	31	231	17	10~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)